

がんばってます 青年部！

京都青年中央会の野本会長と各青年部の代表者とのトークコーナーです。今回は京都府レンタルおしぼり協同組合青年部会会長の山崎 治氏にお話を伺いました。

其の三十三

京都府レンタルおしぼり協同組合青年部会の巻



会長 山崎 治氏

- 野本** 最初に青年部会のご紹介をお願いします。
- 山崎** 京都府レンタルおしぼり協同組合青年部は平成7年4月に設立されました。会員数5社5名と非常に人数の少ない青年部です。
- 野本** おっしゃるとおり、京都青年中央会の中でも人数の少ない青年部ですね。では、どのような活動をされていらっしゃるのでしょうか？
- 山崎** 毎年催されます全国おしぼり協同組合連合会青年部全国大会での事例発表やPR活動、青年部会内の親睦を深めるための懇親行事などを行っております。
- 野本** 事例発表やPR活動といいますと具体的にはどんなことをされるのでしょうか？
- 山崎** 昨年は全国おしぼり協同組合の設立10周年の大会が京都で催されました。その際に「手を拭く」に、ちなんで「10月29日はおしぼりの日」と決めました。

「おしぼりの日」のPR活動は、我々、京都府レンタルおしぼり協同組合青年部会では、おしぼりのフィルムにおしぼりの日の印字をしたり、他府県では街頭でアピールしたりしたそうです。



野本会長とがっちり握手

- 野本** なるほど、いい事例ですね。全国どこにでも、おしぼり屋さんはあると思いますので、非常にいい取り組みだと思います。話は変わりますが、平成18年度京都青年中央会の基本方針として「新連携によるビジネスモデルの構築」を掲げております。普段の仕事の中で新連携につながるようなことはありますか？
- 山崎** はい。わたしたちは普段飲食店を中心にアミューズメント施設や病院、老人ホームなど対象も幅広く、扱う品目もおしぼりだけでなく、マットや洗剤、中には害虫駆除まで行う会社もあります。それに、家電メーカーや自動販売機メーカーとタイアップしている会社も実際にあります。つまり顧客との信頼関係で幅広い広報や提案ができるのではないかと思います。
- 野本** モノづくりの会社は広報が苦手なところが多いので、メリットを活かした新たな連携が生まれればと思います。本日はいろいろとお話いただきましてありがとうございます。最後に京都青年中央会に期待されることをお聞かせください。

- 山崎** はい。京都青年中央会は自分自身いろいろな業種の方々との交流の場を提供していただいております。井の中の蛙というのでしょうか。自分自身、たくさんの経験や交流をすることができました。今後も、そのような交流の場を提供していただければと思います。

- 野本** 今後もみなさまのご期待に添うような事業を企画、案内させて頂きたいと思います。本日はお忙しいところ有難うございました。



おしぼり以外に扱う品目の例



工場の様子

(取材:文=情報企画委員会:中西厚詞 特派員)

おたくのお仕事なにあに？

『新連携ビジネスプラン』の構築に欠かせないのが、「他の青年部はどんな仕事をしているのか?」、このコーナーでは、会員青年部の皆さんの仕事内容を紹介、会員青年部の持っている技術を紹介いたします。

京都府電気工事工業協同組合青年部 DECKS

私達、京都府電気工事工業協同組合青年部(愛称:DECKS(デックス))は主に電気に携わる青年有志の集まりです。歴史は1980年に設立し、今期で26周年を迎えました。40歳迄という短い、青年部活動の中で若手経営者や後継者といった様々な先輩方が今日のDECKSを創り上げてきました。年間を通じて新年会、納涼会、旅行、クリスマスパーティー、見学会や勉強会、カップリングパーティ、異業種交流等を行ってきました。こうした活動を通じて、青年部員または部員対象との相互関係の親睦、情報交換、助け合い、分かち合いを目的として、部員増員に励んでいます。一時期には約100名以上在籍していた部員も、現在では半分近くまで減りました。しかし、青年部に一番必要な元気、活気、勢いというのは現在も全く変わっていません。むしろ役員全体の意思の疎通、団結力はより一層パワーアップしており楽しく誇りに思っています。

さて、こんなエネルギー溢れるDECKSの中にも様々な業種が集まっています。一言では説明しにくいのですが、大きく分けるとまず「強電設備」(「低圧電気」屋内、屋外で一般家庭や店舗、事務所で使用する電気設備の配線や照明、家電の取り付けになります。)(「高圧電気」病院、学校、ビル等の大型建造物の受電設備になります。)(「弱電設備」(「通信」電話やインターネット、放送・映像等の設備になります。)(「防災」(感知器や誘導灯、非常ベル等の設備になります。)(「制御」(機械や管理システム等の設備になります。)(「空調設備」(「換気」空気の流動を働く設備になります。)(「冷暖房」エアコン、冷凍冷蔵庫等の設備になります。)(、その他様々な電気に関わる事業で活躍しています。私達は、お客様が求める内容をもとに設計や施工し、満足して頂くよう日々努力しています。

DECKSでは、更なる電気業界発展・当青年部の向上、多くの異業種との連携、協力をして「次世代の記憶に残るよう前進あるのみ」のDECKS精神でチャレンジして行きたいと思っています。もし、電気に関するお悩みご質問があれば、いつでも遠慮せずに、御相談下さい。今後ともDECKSを宜しくお願い申し上げます。



DECKS事業納涼会

文＝部長 早寄 康夫

京都陶磁器卸協同組合青年部会

私達、京都陶磁器卸協同組合青年部会は、京都を代表する伝統工芸品である「京焼・清水焼」を取り扱う卸業者の次期後継者・若手社員を中心に、業界の活性化と親睦・新しい事業を進める事を目的として、昭和55年に設立され現在に至っています。

その活動は業界内はもちろん、他業種との交流も積極的に推し進め、「京焼・清水焼」を世間に広くアピールすると同時に、会員個々のスキルアップと啓発活動にも大きな役割を果たしています。現在の会員数は、賛助会員を含め11名と比較的小規模な組織ではありますが、青年部ならではの軽快な行動力を生かし、新しい情報と楽しい活動を提供すべく活動を続けています。

所属各商社の仕事内容は、百貨店や全国各地の専門店、また日本料理店やホテルなどに陶器を卸すという問屋業務が中心となります。メーカー(窯元・作家)とユーザーを繋ぐ架け橋として、「京焼・清水焼」の持つ精緻で格調高い作風とそれらを生み出す技術を消費者側に伝え、また現代の消費者の求める商品傾向・嗜好といったものを製作側にフィードバックすることにより、より上質で魅力的な商品を開発・販売していく事が重要な仕事となります。

陶芸というのは非常に奥の深い世界であり、また趣味性の強いものでもあります。陶器を扱うプロフェッショナルとして、私達は商売に対する感覚はもちろん、1000年を越えるといわれる歴史を持つ「やきもの」に関する膨大な知識や審美眼といった要素も、同時に身に付けて行かなければなりません。その為には個々の努力もさることながら、業界内の横のつながりを生かした情報交換や課外活動により、業界全体のプロ意識をレベルアップさせる事が必要不可欠であると言えます。

昨今の景気状況の下、業界全体が大きな逆風を受け、変革を求められるこの時代に、当青年部は時代を担う若き経営者の育成と、ひいては業界の発展の為に役立つ事の出来る組織として、今後も活動を続けて行きたいと思っています。

文＝会長 田村 健夫

今後の事業予定および事業報告

第23回 京都府知事杯争奪ソフトボール大会

●とき

平成18年11月12日(日)

●ところ

京都府立丹波自然運動公園 軟式野球場
京都府船井郡丹波町字曾根小字崩下代110-7
10月20日(金)までにお申し込みください。



事業報告

第1回、第2回代表者会議

および新連携BM戦略会議

年間4回の会議のうち2回が終了しました。テーブルディスカッション形式により活発な意見や要望、問題点、新連携ビジネスモデルの可能性などが話し合われました。次回、11月22日(水)アピカルイン京都(松ヶ崎)予定。



第2回の会議の様子

編集後記

フワフワした鰯雲が空に浮かび、秋を感じるようになってきました。月見をして哀愁を感じるもよし、紅葉狩りするもよし、読書や運動に励むもよし、秋の味覚を満喫するもよしですね。